

原発賠償京都訴訟 陳述書に基づくアンケート

大阪高裁に提出する意見書作成のために、原告の皆さまの陳述書のデータをまとめる作業を行っています。原発事故によって受けた皆様の被害の実態と損害を正しく裁判所に伝えるための作業です。

これにあたっては、新潟訴訟と山形訴訟で地裁に提出した意見書に基づき、そのときに使用した陳述書質問票に沿って記述しています。しかし、京都訴訟とは陳述書の記載方法が違っていますので、多くの個所が空欄になっています。そのため、それぞれの質問についてお目通しいただき、陳述書の内容と異なる場合は修正を、未回答の質問には回答を記入してください。それに当たっては、現在の時点ではなく、陳述書作成時の記憶をもとに回答して下るようお願いいたします。

1. 原告の分類を教えてください

- 区域外避難の母子避難世帯で現在も避難中のもの
- 区域外避難の母子避難世帯で帰還したもの
- 区域外避難で家族全体での避難をしたもの（当初母子避難で夫が家族統合のため関西に追加避難したものを含む）
- 緊急避難時避難準備区域からの避難で現在も避難を継続しているもの
- 緊急避難準備区域からの避難で帰還したもの
- 強制避難区域から避難したもの

2. 陳述書ナンバー（世帯番号）を教えてください

3. 事故前の住所（市町村名まで）を教えてください

4. 事故前の住所（市町村名まで）の地域区分を教えてください。

- 帰還困難区域
- 旧避難指示区域
- 旧緊急時避難準備区域
- 旧特定避難勧奨地点
- 上記以外の被災者支援法の対象区域
- 上記以外の福島県内
- 福島県外

5. 陳述書作成者の属性を教えてください

- 成人男性（夫）
- 成人女性（妻）
- 成人男性（祖父）
- 成人女性（祖母）

6. 事故前の同居家族の構成を教えてください（該当者がいる行のみチェックしてください）

	0-2 歳	3 歳以上の 未就学児	小学生	中学生	高校生	高卒以上 20-30 代	40-50 代	60-70 代	80 代以上
成人男性（夫）									
成人女性（妻）									
祖父									
祖母									
曾祖父									
曾祖母									
第 1 子									
第 2 子									
第 3 子									
第 4 子									

7. 陳述書作成時の同居家族（陳述書作成者本人を含む）の構成を教えてください（該当者がいる行のみチェックしてください）。

	同居	別居後同居	別居（仕事等のため）	別居（進学等のため）	別居（別方面への避難のため）	離別	死別
成人男性（夫）							
成人女性（妻）							
祖父							
祖母							
曾祖父							
曾祖母							
第1子							
第2子							
第3子							
第4子							

8. 事故当時の成人女性の（妻の）妊娠の有無を教えてください

- あり
 なし

9. 事故前の家族の仕事をお願いします（該当者がいる行のみチェックしてください）

	フルタイム	パートタイム	自営業	なし
成人男性（夫）				
成人女性（妻）				
祖父				
祖母				
その他（具体的に）				

10. 事故前の住所の形態をお願いします

- 持ち家（実家）
 持ち家（核家族）
 その他（具体的に）
 賃貸戸建て
 賃貸マンション・アパート

11. 住宅ローンの有無をお願いします

- あり（持ち家あり）
 なし（持ち家あり）
 事業のためのローンあり（店舗のローンなど）
 該当しない（賃貸住宅等）

12. 事故を最初に知った経緯をお願いします（複数回答可）

- 報道で知った（新聞、TV、ラジオなど）
 防災情報で知った
 SNS で知った
 その他（具体的に）
 近所の人、親戚、知人に聞いた
 実際に事故の様子が見えた
 家族や知人の原発勤務者から聞いた

13. 避難指示があった場合、避難したタイミングを教えてください。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 避難指示によって避難した | <input type="checkbox"/> 避難指示はなかった（避難指示区域外） |
| <input type="checkbox"/> 避難指示の前に避難し、避難後に避難指示を知った | <input type="checkbox"/> 不明 |

14. 事故を最初知ってとった行動を教えてください（複数回答可）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> すぐに家族全員で避難した | <input type="checkbox"/> TV やネットなどを通じて調べた |
| <input type="checkbox"/> すぐに母子だけで避難した | <input type="checkbox"/> 家族や知人等と相談した |
| <input type="checkbox"/> 家の中で、換気扇を止める、窓を開けないなど、自衛策をとった | <input type="checkbox"/> 特に何もしなかった |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | |

15. 関西に避難する前に避難した場所がある場合、最初に避難した時期を教えてください（以下より選択）

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 2011年3月11-15日 | <input type="checkbox"/> 2011年7-8月 |
| <input type="checkbox"/> 2011年3月16-31日 | <input type="checkbox"/> 2011年9月-2012年3月 |
| <input type="checkbox"/> 2011年4月 | <input type="checkbox"/> 2012年4月-2013年3月 |
| <input type="checkbox"/> 2011年5月 | <input type="checkbox"/> 2013年4月以降 |
| <input type="checkbox"/> 2011年6月 | |

16. 初期避難（一次避難、実家等への避難も含む）しようと思ったきっかけや理由を教えてください（複数回答可）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 避難指示が最初からあった | <input type="checkbox"/> ど）を見て、住民とのギャップを感じた |
| <input type="checkbox"/> 避難指示が広がった地点で対象となった | <input type="checkbox"/> 自身で入手した機器で測り、生活圏内での放射線量の数値が高いと認識した |
| <input type="checkbox"/> 指示はないが、ネットなどでいろいろと調べた | <input type="checkbox"/> 政府の発表に不信をもった |
| <input type="checkbox"/> 知人や家族から避難を勧められた | <input type="checkbox"/> 成人の将来の健康影響に不安を感じた |
| <input type="checkbox"/> 子どもや胎児への健康影響への懸念・不安を感じた | <input type="checkbox"/> 家族の健康状況（成人）に異変を感じた |
| <input type="checkbox"/> 子どもの健康状況に異変を感じた | <input type="checkbox"/> もともと持病がある（体が弱い）ので、放射線被ばくを避けたいと考えた |
| <input type="checkbox"/> 行政が公表する、生活圏内での数値が高いと感じた | |
| <input type="checkbox"/> 重装備で業務に従事している人々（放射線量計測な | |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | |

17. 一次避難（仮避難、問16の定義と同様）の場所を教えてください（2か所以上に一次避難した場合は複数回答可）

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 公設避難所（体育館など） | <input type="checkbox"/> 実家 |
| <input type="checkbox"/> 旅館・ホテル | <input type="checkbox"/> 公営住宅・雇用促進住宅 |
| <input type="checkbox"/> 親戚・知人の家 | <input type="checkbox"/> 民間の借家 |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | |

18. 事故後に、元居住地（福島など）での日常生活（本避難前、一時帰還中を含む）で不安等を感じたことがあれば教えてください（複数回答可）

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 地元産の食材や水道水を使う不安 | <input type="checkbox"/> 甲状腺がんの検査を受けること |
| <input type="checkbox"/> 学校、保育園、幼稚園の食材への不安 | <input type="checkbox"/> 除染をめぐる不信感 |
| <input type="checkbox"/> 子どもを被ばくさせてしまったことへの後悔 | <input type="checkbox"/> 東電や政府の発表への不信感 |
| <input type="checkbox"/> 外遊びや部活動等が再開されたことによる、子どもの被ばくりスクの高まり | <input type="checkbox"/> 放射能の危険性に関する報道、風評、専門家の意見など |
| <input type="checkbox"/> 外遊びを制限しなければならないことによる子どものストレス、葛藤 | <input type="checkbox"/> 不安を口に出せないことの葛藤（風評被害との非難への怖れなど） |
| <input type="checkbox"/> 窓を開けられない（洗濯物や布団を干せない等含む）ことによる不快、ストレス | <input type="checkbox"/> 福島出身であることにより受けるかもしれない差別への不安 |
| <input type="checkbox"/> 通学路などが制限され、マスク着用や長袖にしなくてはならないことへの不安 | <input type="checkbox"/> 避難区域の線引きへの疑問、不満 |
| <input type="checkbox"/> ガラスバッチをもつこと、結果がなかなか知らされないことへの不安 | <input type="checkbox"/> 事故直後に強制避難をし、一度も帰還していないため、該当しない |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | <input type="checkbox"/> 特になし |

19. 本避難（借り上げ住宅などに定住する本避難のこと）をしようと考えた理由やきっかけを教えてください（複数回答可）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 該当しない（避難指示が最初からあった） | <input type="checkbox"/> 将来の健康影響に不安を感じた |
| <input type="checkbox"/> 避難指示が広がった時点で対象となった | <input type="checkbox"/> 家族（成人）の健康状況に異変を感じた |
| <input type="checkbox"/> 避難指示はないが、いろいろと自分で調べた | <input type="checkbox"/> 子どもの健康状況に異変を感じた |
| <input type="checkbox"/> 行政が公表する、生活圏内での数値が高いと感じた | <input type="checkbox"/> 長袖、マスクをすること、校庭での遊びが制限される等、子どもの成長に悪影響があると判断した |
| <input type="checkbox"/> 自身で入手した機器で測り、生活圏内での放射線の数値が高いと認識した | <input type="checkbox"/> 線量が高止まりしているのに、課外活動（体育や部活動等）が再開されることに不安を感じた |
| <input type="checkbox"/> 政府の発表や情報公開に不信をもった | <input type="checkbox"/> 不安を口に出せない雰囲気、風評被害と非難を受けることに不安を感じた |
| <input type="checkbox"/> 行政の施策に不信をもった | <input type="checkbox"/> 特になし |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | |

20. 問 19 で本避難前に体調不良があったと答えた方に、どのような不調が見られましたか（複数回答可）

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 鼻血 | <input type="checkbox"/> 紫斑 |
| <input type="checkbox"/> 下痢 | <input type="checkbox"/> 肌荒れ |
| <input type="checkbox"/> 風邪、熱 | <input type="checkbox"/> 特になし |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | |

21. 本避難の前に、自身で自宅や周辺の線量を測りましたか？その場合、どこを測りましたか（複数回答可）

- 自宅
- 通学路・公園など
- 自宅の庭、雨どいの下など
- 学校など
- 自宅周辺
- 測っていない
- その他（具体的に）

22. 線量を測り、安全についてどのように感じましたか（複数回答可）

- 安全と思った
- 極めてリスクが高いと感じた
- 自治体の発表している線量よりも大幅に高く不安になった
- 子どもには安全でないと感じた
- 場所にとっては線量が高く不安になった
- 政府や自治体による発表は信用できないと思った
- 予想より高くて驚いた
- 測っていない
- その他（具体的に）

23. 本避難前の決断に際し、抱えた葛藤を教えてください（複数回答可）

- 住み慣れた家を離れる不安
- 家族を残して避難することのうしろめたさ
- ふるさとを離れるうしろめたさ
- 避難しない人がいる中で避難することのうしろめたさ
- 夫婦間の意見の相違
- 金銭的な負担増への不安
- 親世帯、子世帯間の相違、疎外
- 離職・転職することへの苦痛
- 友人や知人、近所との意見の相違、疎外
- 戻りづらくなることへの不安
- 夫など家族が離れ離れになることへの苦痛
- ストレス過多によるうつ状態（うつ病の診断を受けていない場合も含む）
- 職場で理解が得られないこと
- 葛藤はまったくなかった
- 子どもを転校・転園させることへの不安
- 子どもの精神的影響（離ればなれになることへの）

24. 本避難前に、被ばくや放射能のリスクについては、どのように情報を入手し、またどのように受け止めましたか

	入手し役立てた	入手したが役に立たないか信用できないと感じた	利用しなかった	記憶なし
政府や自治体による説明会				
学校や自治会等における説明会				
政府等によらない、民間の説明会（専門家）				
行政による広報など				
学校での説明会など				
新聞・TV など				
インターネット、SNS など				
専門書				
知人との意見交換				

また、行政による情報提供や説明が信用できないと答えた人は、そのように考えた理由について記述してください

25. 関西への本避難（定住を伴う）時期を教えてください

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 2011年3月11-15日 | <input type="checkbox"/> 2011年7-8月 |
| <input type="checkbox"/> 2011年3月16-31日 | <input type="checkbox"/> 2011年9月-2012年3月 |
| <input type="checkbox"/> 2011年4月 | <input type="checkbox"/> 2012年4月-2013年3月 |
| <input type="checkbox"/> 2011年5月 | <input type="checkbox"/> 2013年4月以降 |
| <input type="checkbox"/> 2011年6月 | |

26. 関西への本避難場所を教えてください（当てはまるものすべてを選んでください）

- | | |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 親戚・知人の家 | <input type="checkbox"/> 公営住宅・雇用促進住宅 |
| <input type="checkbox"/> 実家 | <input type="checkbox"/> 民間の借家 |
| <input type="checkbox"/> 民間借り上げ仮設住宅 | <input type="checkbox"/> 新規に家を購入 |
| <input type="checkbox"/> 民間借り上げ仮設住宅の移転（借り換えなど） | |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | |

27. 関西を避難先にした理由を教えてください（複数回答可）

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 実家や親戚がいる | <input type="checkbox"/> 報道等で避難受け入れがあることを知った |
| <input type="checkbox"/> 友人・知人がいる | <input type="checkbox"/> 民間借り上げ住宅制度があった（特に自主避難者に開かれていた） |
| <input type="checkbox"/> 友人や親戚等が避難している | <input type="checkbox"/> 放射線量が低い |
| <input type="checkbox"/> 元居住地の行政による案内があった | |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | |

28. 避難に関する家族や親戚の反応を教えてください

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 家族中、皆で合意した |
| <input type="checkbox"/> 家族の中でも合意が難しかった |
| <input type="checkbox"/> 家族では合意したが、近隣の親族や両親等の反対があった |
| <input type="checkbox"/> 家族では合意したが、友人・職場など、地域からの反対があった・話せなかった |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） |

29. 本避難による避難生活を開始して、抱えた困難を教えてください（複数回答可）

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 住宅の質の低下（元居住地に比べて） | <input type="checkbox"/> 引越しにともなう苦勞・困難 |
| <input type="checkbox"/> 不衛生 | <input type="checkbox"/> 金銭的支出の増大 |
| <input type="checkbox"/> 場所的不便 | <input type="checkbox"/> 生活に余裕がない |
| <input type="checkbox"/> 近隣トラブル | <input type="checkbox"/> 母一人で子どもを抱える不安 |
| <input type="checkbox"/> 家具・身の回りのものの入手 | <input type="checkbox"/> 先行きの不安 |
| <input type="checkbox"/> ペット | <input type="checkbox"/> 収入が減少した |
| <input type="checkbox"/> （自分の）子どもが近隣で迷惑をかけること | <input type="checkbox"/> 抱えた困難はない |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | |

--

30. 本避難開始前の世帯分離（のちに解消したのものも含む）のタイプで、当てはまるものをすべて選んでください（複数回答可）

- 分離はない
- 夫婦分離（妻だけが避難するなど：妻と夫と離れて子を連れて避難する、母子避難も該当）
- 世代間の分離（親世代と子世代の分離：父親と子の分離、祖父母世代と親・子世代の分離など）
- 兄弟分離（複数の子のうち、年少の子だけ避難するなど）
- その他

31. 陳述書作成時点での、世帯分離の解消の有無を教えてください

- 解消していない
- 帰還による解消
- 追加避難による解消
- 転勤など偶発的な事情による解消
- 該当しない（分離はない）

32. 事故後の退職の有無と、退職に伴う影響を教えてください（該当者がいる行のみ回答）

	退職していない	元々職についていない	収入の減少	仕事のやりがいの喪失	キャリアの喪失	人間関係の喪失	失業期間の発生
成人男性（夫）							
成人女性（妻）							
祖父							
祖母							
その他（具体的に）							

33. （お子さんがいる世帯のみ）避難による転校の有無を教えてください（該当するところに、性別と転校時の学年を記述してください（例：男、小学2年））

第1子		第3子	
第2子		第4子	

34. （お子さんがいる世帯のみ）転校に伴う影響について教えてください（複数回答可。お子さんがいない場合は「該当なし」を選んでください）

- 転校を激しく嫌がった
- 転校先で友達に馴染めなかった
- 友人を喪失した
- 学業へ影響がでた（勉強ができなくなるなど）
- その他（具体的に）
- 不登校になった
- 精神的に不安定になった
- 該当なし

--

35. 避難による夫婦関係の悪化はありましたか（単身者の場合は「該当なし」を選んでください）

- 離婚
- 事実上の婚姻破綻
- 口論の多発や関係の希薄化
- 悪化していない
- 該当しない

36. 親子関係・親族関係が悪化したケースはありましたか（当てはまる項目がある場合のみチェックしてください）

	一時的な関係悪化	事実上の断絶	悪化はなかった
実の親子（夫、妻と子どもなど）			
実の親子（父母と夫など）			
義理の親子（義父母と妻（嫁）など）			
その他の親族			

37. 友人や同僚との人間関係が悪化したケースはありましたか（当てはまる項目がある場合のみ、チェックしてください）

	一時的な関係悪化	事実上の断絶	悪化はなかった
旧知の友人			
ママ友達			
上司			
同僚			
子どもの友人			

38. 避難先における人間関係について教えてください（複数回答可）

- 避難者であるという理由で誹謗中傷を受けた
- 子どもが声を立てないように、など気がつかった
- その他（具体的な状況を記述してください）
- 親切な人びとに助けをもらうことがあった
- 孤独感を強めた、孤立した

39. 避難をした成人男性の、仕事や学校に対する愛着、それらの喪失や変化による苦痛について、当てはまるものを選んでください（複数回答可）

- 妻や子どもと離れ離れになることを強いられた
- 妻や子ども、家族との仲が悪くなった（一時的なものも含む）
- 退職、転職を強いられた
- 給与の減額
- やりがいがある仕事の喪失（変化）に伴う苦痛
- その他（具体的に）
- （子どもの）転校に伴う苦痛
- 移動に伴う苦痛・危険
- 職場や地域コミュニティでの差別、いじめや孤立
- 庭仕事など、生き甲斐だったことができなくなる苦痛
- ストレスによる心身の不調
- 該当なし

40. 避難をした成人女性の、仕事や学校に対する愛着、それらの喪失や変化による苦痛について、当てはまるものを選んでください（複数回答可）

- 夫や子どもと離れ離れになることを強いられた
- 夫や子ども、家族との仲が悪くなった（一時的なものも含む）
- 退職、転職を強いられた
- 給与の減額
- やりがいがある仕事の喪失（変化）に伴う苦痛
- その他（具体的に）
- （子どもの）転校に伴う苦痛
- 移動に伴う苦痛・危険
- 職場や地域コミュニティでの差別、いじめや孤立
- 庭仕事など、生き甲斐だったことができなくなる苦痛
- ストレスによる心身の不調
- 該当なし

41. 母子避難の場合、父親は母子避難先にどのくらいの頻度で往復しましたか

- 1週間に1回
- 1か月に2～3回
- 1か月に1回
- 2か月に1回
- 半年に1回
- 該当しない

42. 母子避難中、離れて暮らす父親が抱えた困難・苦悩について、当てはまるものを選んでください（複数回答可）

- 妻や子ども、家族との仲が悪くなった（一時的なものも含む）
- 経済的な負担増
- 肉体的な負担増、疲れ
- その他（具体的に）
- 交通事故の危険
- 妻、子どもと離れる苦痛
- 地元に残る実家や親戚などからの批判や孤立
- 職場や地域コミュニティでの差別、いじめや孤立
- 該当しない

43. 避難生活による健康状態の悪化について、誰にどのような影響があったか教えてください（当てはまる箇所すべてにチェックを入れてください）

	放射能の影響が考えられる症状の発症	精神症状の発症	持病の悪化	その他の健康状況の悪化
成人男性（夫）				
成人女性（妻）				
第1子				
第2子				
第3子				
第4子				

上記でチェックを入れた場合、該当者それぞれにつき「症状の内容」「入通院の有無」「(判明していれば)診断名」を具体的に記述してください。症状の内容は、入通院がない場合でも、子どもが夜泣きだす、成人で血圧が上がる、絶望感で眠れない、涙や動悸が止まらないなど、できるだけ具体的に記述してください。また、通院や検査をして何か症状がでた場合（例えば、病気とは言いにくい「のう胞が見つかった」など）も記述してください。

44. 子どもたちについて、具体的に生じた事象についてお答えください（複数回答可）

- 避難後、子どもたちの体調や様子に変化があった
- 学習能力の低下
- 避難後、周囲に馴染めないなど人間関係に問題が生じた
- 特に悪影響はない
- 不登校、引きこもり
- 該当しない（子どもがいない世帯）
- その他（具体的に）

45. 避難生活に伴う経済的困難・喪失・出費増加について教えてください（複数回答可）

- 二重生活による生活費増
- 収入自体の減少
- （母子避難の場合）夫が関西へ通う交通費負担
- 失業
- 手続き等のために避難元に戻る交通費負担
- 離別等による生活費困難
- その他（具体的に）
- 特になし

46. 陳述書を作成した時点で、関西から元居住地へ帰還しましたか？また帰還した場合、帰還時期を教えてください

- 帰還していない
- 帰還した

帰還した場合、帰還時期はいつですか？

47. 帰還をした場合、その理由を教えてください（複数回答可）

- 線量が下がった、健康不安がなくなった
- 補償金の打ち切り
- 学校などの節目
- 住宅支援の打ち切り
- 家族が離れて暮らすことにこれ以上耐えられなかった
- 仕事の都合
- 経済的負担
- 親族の都合
- 肉体的負担
- 該当しない（帰還していない）
- その他（具体的に）

48. 帰還していない場合、帰還しない理由を教えてください（複数回答可）

- 放射線量、健康不安
- 引っ越しをする困難
- 避難先での生活の慣れ、安定
- 家族内で結論がでない
- 帰還することへの不安（いじめの不安など）
- 家庭状況が変わった（介護者が増えたなど）
- 子どもの学校
- 避難先で住宅をすでに確保した
- 仕事の都合
- 該当しない（帰還した）
- その他（具体的に）

49. 線量が帰還しない理由のひとつである場合、どの線量になれば帰還できると考えますか

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 20 ミリシーベルト（年間） | <input type="checkbox"/> 事故前のレベル |
| <input type="checkbox"/> 5 ミリシーベルト（年間） | <input type="checkbox"/> 具体的な線量はないが、まだ高いと感じている |
| <input type="checkbox"/> 1 ミリシーベルト（年間） | <input type="checkbox"/> 該当しない（避難指示が解除されていないなど） |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | <input type="checkbox"/> すでに帰還している |

50. 帰還後の不安・懸念について当てはまるものを選択してください（帰還した人、避難継続中の人どちらもご回答ください。複数選択可）

- | | |
|------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 放射能レベル | <input type="checkbox"/> 周囲との意見の相違 |
| <input type="checkbox"/> 子どもへの健康影響 | <input type="checkbox"/> 不安を話せないこと |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | <input type="checkbox"/> 避難先で安定してきた生活を手放す不安 |

51. 避難生活を続けることの葛藤・苦しみについて、当てはまるものを選択してください。（避難継続中の人、帰還した人双方による回答：複数回答可）

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 家族分離にともなう孤立感 | <input type="checkbox"/> 民間借り上げ仮設住宅が打ち切りになること |
| <input type="checkbox"/> 家族分離にともなう不和増大 | <input type="checkbox"/> ふるさとを失ったことへの悲しみ・葛藤 |
| <input type="checkbox"/> 暮らし向き（生活の質の低下）についての苦勞 | <input type="checkbox"/> 生きがいを失ったことに対する苦勞（農業など） |
| <input type="checkbox"/> 日常生活の費用増大 | <input type="checkbox"/> 地元に残っている住民への愛着・思い入れ・悲しみ |
| <input type="checkbox"/> 経済的負担・貯金の取り崩し等 | <input type="checkbox"/> 「避難先」でのいじめ・人間関係 |
| <input type="checkbox"/> 先行きが見通せない不安（民間借り上げ仮設住宅が一年更新であることなど） | <input type="checkbox"/> 「避難元の土地」での人間関係 |
| <input type="checkbox"/> 民間借り上げ仮設住宅で、引っ越しができないこと | <input type="checkbox"/> 子育てにおける苦勞 |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | <input type="checkbox"/> 自身の選択への自己嫌悪・否定や後悔・自信の喪失 |
| | <input type="checkbox"/> 帰還をめぐる家族間での意見対立 |

52. 直接請求による東京電力からの賠償について教えてください

- 請求したことがある
 請求したことがない

53. ADR で和解申し立てを行ったことがあるかどうか、お答えください

- 請求したことがある
 請求したことがない

54. 中間指針や ADR による賠償額が十分だと考えていますか

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 十分である | <input type="checkbox"/> 全く不十分である |
| <input type="checkbox"/> どちらともいえない | <input type="checkbox"/> 該当しない |
| <input type="checkbox"/> あまり十分ではない | |

55. 政府の避難や賠償に関する政策について、不満がありますか。ある場合、どのような不満ですか（複数回答可）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 避難の線引き | <input type="checkbox"/> 避難者の日常生活（学校、医療その他）に関する事務の委託の有無 |
| <input type="checkbox"/> 避難解除 | <input type="checkbox"/> 原発事故に関する情報公開 |
| <input type="checkbox"/> 避難区域と賠償をセットにしたこと | <input type="checkbox"/> 線量データの公開 |
| <input type="checkbox"/> 避難基準を 20 ミリシーベルトとしたこと | <input type="checkbox"/> 特に不満はない |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | |

56. 陳述書作成時に、東電の対応についてどう思いましたか

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 強い不満がある | <input type="checkbox"/> どちらかと言えばよくやってくれた |
| <input type="checkbox"/> どちらかと言えば不満がある | <input type="checkbox"/> とてもよく対応してくれた |

57. 陳述書作成時に、国の対応についてどう思いましたか

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 強い不満がある | <input type="checkbox"/> どちらかと言えばよくやってくれた |
| <input type="checkbox"/> どちらかと言えば不満がある | <input type="checkbox"/> とてもよく対応してくれた |

58. 陳述書作成時に、元居住地の都道府県の対応についてどう思いましたか

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 強い不満がある | <input type="checkbox"/> どちらかと言えばよくやってくれた |
| <input type="checkbox"/> どちらかと言えば不満がある | <input type="checkbox"/> とてもよく対応してくれた |

59. 陳述書作成時に、元居住地の市町村の対応についてどう思いましたか

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 強い不満がある | <input type="checkbox"/> どちらかと言えばよくやってくれた |
| <input type="checkbox"/> どちらかと言えば不満がある | <input type="checkbox"/> とてもよく対応してくれた |

60. その他、まだ触れられていないことで、記載したいことがあればご記入ください

お忙しいところ、ご回答へのご協力誠にありがとうございました。

国立民族学博物館 竹沢尚一郎
西南学院大学 伊東未来